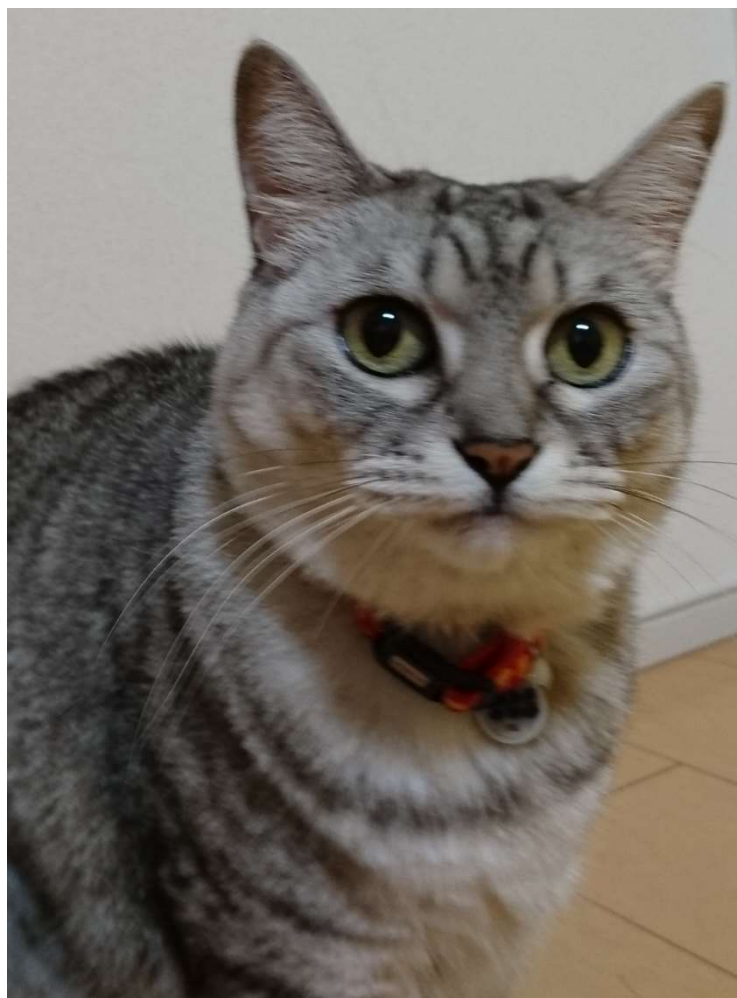


高知市猫の適正飼養ガイドライン



平成30年 4 月

高知市保健所 生活食品課

目次

1 猫を飼い始める方へ	1
2 飼い主の心構え	1
3 猫についての基礎知識	2
①繁殖	
②夜行性	
③運動	
④排泄	
⑤鳴き声	
⑥爪とぎ	
⑦マーキング	
⑧行動範囲	
⑨食事	
4 飼い猫の適正飼養について	3
①屋内飼養	
②不妊去勢手術	
③所有者明示	
④健康管理	
⑤終生飼養	
⑥災害への対策	
5 終生飼養	8
6 災害への対策	8

1 猫を飼い始める方へ

このガイドラインは猫の本能や習性、病気のこと等を理解するとともに飼い主の責任、飼い猫の適正飼養を明確にすることで、適正な飼養や動物愛護への理解を深め、人と猫が共生できる社会を進めることを目的とします。

2 飼い主の心構え

飼う前に考えてもらいたい大事なポイントがあります。よく考えてみて下さい。

①猫を飼養することを同居する人全員が賛成していますか？

猫を飼うには同居する人の理解と協力が必要です。あなたが突然病気になったり、アクシデントに見舞われたときには助けが必要となります。

②同居する人のなかに猫のアレルギーの人がいませんか？

猫を飼い始めたら、喘息などアレルギー症状がでたという場合があります。同居する人にアレルギー体質の人がいる場合は、動物の毛やふけ、排泄物などにアレルギーを起こす可能性があるため、飼う前に慎重な判断が必要です。

③毎日の食事、健康管理等を行うことができますか？

猫は生きていくための全てをあなたに頼っています。しなくてはならない世話はたくさんあり、世話をするには時間が必要です。こどもにせがまれて猫を飼い始めた場合、将来、こどもが進学や就職等で転出し結局は保護者が世話をすることになる場合があります。保護者自身が猫の世話をするつもりがないのであれば、飼うことは控えましょう。

④人に迷惑をかけないように、飼養管理を行うことができますか？

猫の鳴き声、臭い、フンの放置は多くの地域で近隣トラブルの元になっています。近隣に迷惑をかけないようにしなくてはなりません。

⑤あなたの住まいは猫の飼養が許可されていますか？

あなたの住まいが猫を飼える住居であることが、必要不可欠です。最近はペット飼養可のマンションなども増えてきていますが、集合住宅や借家ではペットの飼養が禁止されていることが多いです。様々な住民がいる集合住宅は、飼い主のマナーと社会性が問われます。自分勝手にルール違反をしたり、近隣に迷惑をかけないようにしてください。また、今の住居が猫を飼える環境だとしても、引越しや転勤の予定があるなら慎重に考えましょう。

⑥猫に経費をかけることができますか？

猫を飼うには、犬と比べると「お金がかからない」と思われるかもしれませんが、毎月の食費、医療費等でその後もお金がかかります。

・食事

猫は成長するにつれてフードの量も質も変わります。高齢や病気の際は特別なフー

ドが必要になります。

・ペット用品

トイレ、猫砂、キャリーケース、食器、爪とぎ、キャットタワーなどの用品代がかかります。

・医療費

定期的な健康診断、予防接種、不妊・去勢手術などの医療費がかかります。

⑦終生（猫が死ぬまで）飼い続ける事ができますか？

猫は十数年生きています。猫が高齢になったときのこともおかなくてはなりません。人生には進学や就職、引越し等の様々な転機があります。生活の変化があったときに、飼い続けることができるか、よく考えてください。

⑧万一、世話ができなくなったときに、世話をしてくれる人がいますか？

あなたが突然入院してしまったり、最悪の場合亡くなってしまうなどの不幸なアクシデントがあるかもしれません。代わりに飼ってくれる人を見つけておきましょう。

⑨完全屋内飼養ができますか？

屋外は感染症や交通事故、迷子などの危険があります。また、しつけをしていても、あなたの目の届かないところでウンチやいたずらで迷惑をかけているかもしれません。近隣とのトラブルを防止するため屋内のみで飼養をしましょう。

3 猫についての基礎知識

猫を適正に飼うために、猫の本能や習性についてよく知る必要があります。

①繁殖

a メス

メスは生後6か月くらいで繁殖できるようになります。一般的に年2～3回、約3か月間隔で発情が見られ、約1週間続きます。交尾により排卵が起こるため、ほぼ100%妊娠します。妊娠期間は約2か月で、1回に3～8匹の子猫を産みます。発情しても交尾をしない場合は、3～4週間おきに発情します。

b オス

オスは生後6か月くらいで繁殖能力を備え、オス特有の性行動（放浪癖、けんか、尿スプレー）が見られるようになります。オス単独では発情せず、メスの発情に誘われて発情します。



② 夜行性

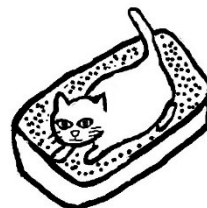
猫は本来、夜行性です。飼い猫は、飼い主の生活リズムに合わせて行動します。

③ 運動

猫は高い場所や立体的な移動を好みます。猫にとって高い場所は安全で落ち着く場所です。この性質を利用して、屋内でもタワーや壁面に棚を作るなどして上下運動できるようにしてあげましょう。

④ 排泄

やわらかい土、砂地を好み、決まった場所に排泄する習慣があります。この習性を利用して、トイレに排泄するようしつけることができます。猫の数より多めにトイレを用意してあげましょう。清潔にしないと他の場所で用を足すようになります。



⑤ 鳴き声

コミュニケーションの一つで、猫同士の会話や発情の誘い行動、威嚇、警戒など鳴き方の違いによって様々な表現を行います。

⑥ 爪とぎ

爪を立ててこすりつけ、爪跡を残したり、足の裏から分泌される汗を移してマーキングを行います。また、爪を整えることで、木に登ったり、外敵から身を守るための武器として利用できるようにします。



⑦ マーキング

自分の匂いを残すことで自分の存在を他の猫に示すために、尿スプレー・顔や体の擦り付けなどを行います。オスだけでなく、メスでも見られることがあります。なお、オスの尿スプレーは、去勢手術により多くの猫において抑制できます。

⑧ 行動範囲

エサや猫の数で行動範囲は変わりますが、半径 50～500m位とされています。

⑨ 食事

猫は肉食動物で、「タウリン」という栄養素を体内で合成できません。タウリンを配合された猫用フードを与えてください。タウリンが不足すると、夜目がきかなくなったり、失明するおそれがあります。

4 飼い猫の適正飼養について

飼い主の責任として、近隣への迷惑防止と猫の安全確保、健康管理に努めましょう。

① 屋内飼養

猫は、屋内のみで飼養しましょう。「外に出してあげないとかわいそう」と言う人がいますが、猫の習性を理解し、不妊去勢手術を施した上で、環境を整えれば屋内

だけでも十分飼養できます。

放し飼いの猫は、交通事故などの危険にさらされているだけでなく、感染症などの病気で動けなくなることも多くあります。去勢をしていないオス猫は、他のオス猫とのケンカでケガをして動けなくなったり、ケンカに負けてその地域を追い出され、家に帰れなくなることがあります。屋内で飼養すれば、感染症や交通事故、迷子などの危険を防ぐことができます。また、フン尿やいたずらによる近隣への生活環境被害やトラブルを防止することができます。

猫に快適な室内環境例

快適な環境と飼い主との良いコミュニケーションで、猫は室内飼育で幸せに暮らせます。

上下運動

猫は高い所や立体的な移動を好みます。家具や箱、キャットタワーなどで上下運動できる場所をつくりましょう。

外が見える場所

猫は外を眺めたり、動く物を見るのが好きです。

かくれ場所①

高い所や狭い所に快適で安心できるかくれ場所をつくりましょう。

おもちゃ

安全な猫用のおもちゃを置いておきましょう。ストレスの解消になります。

かくれ場所②

キャリーバックをかくれ場所にしておくと、通院時や災害時の避難にも役立ちます。

爪とぎ

猫は古い爪を剥がしたり、自分の匂いを付けるために爪をとぎます。家具を傷つけられる前に、爪とぎを用意しましょう。

トイレ

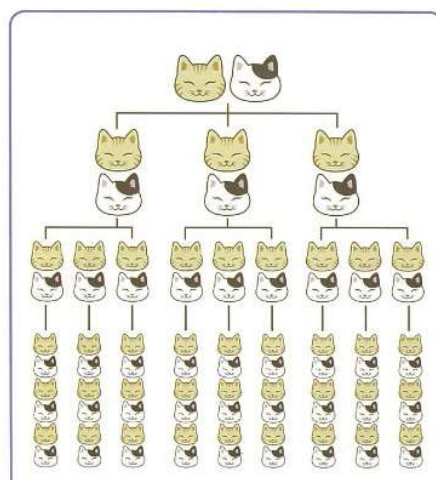
トイレの数は猫の数より1つ多いのが理想です。毎日きれいに掃除しましょう。

環境省パンフレット『宣誓！無責任飼い主ゼロ宣言!!』より作成

②不妊去勢手術

猫はとても繁殖力が強い動物です。引き取られ殺処分される猫のほとんどが子猫です。産まれてくる子猫に責任が持てない場合は、不妊去勢手術を受けさせ、繁殖制限を行いましょ。

不妊・去勢手術をすると性格がおだやかになり、発情期の行動（尿マーキング、けんか、メス猫を求めての脱走、大声で鳴く）が減り、屋内飼育しやすくなります。また、睾丸・肛門周囲の腫瘍や前立腺の病気、乳腺の悪性腫瘍、子宮蓄膿症



あっという間に増えてしまいます。
不妊去勢手術をしましょう！

の予防のメリットもあります。繁殖能力を持ち始める前の生後4～5ヶ月の時期に不妊・去勢手術をするのが繁殖防止には効果的です。

③所有者明示

「猫がいなくなった」という相談が毎日のように寄せられます。行方不明や災害時の準備として、普段から迷子札やマイクロチップなどを装着し、飼い主の連絡先が分かるようにしておきましょう。



迷子札を付けましょう

*マイクロチップとは

直径2mm、長さ12mmの円筒形の電子標識器具で、安全性の高い動物の個体識別（身元証明）の方法として、世界中で広く使用されています。一度体内に埋込むと、脱落や消失の可能性がなく、半永久的に使用可能です。15桁の数字が記録されており、この番号を専用のリーダーで読み取ります。

※専用の器具で猫の皮下に挿入しますので、かかりつけの動物病院へ相談してください。

※外観だけではチップが入っていることは確認できません。名札を併用しましょう。

④健康管理

ア 猫の主な感染症

猫の感染症の原因になるウイルスは、屋外で活動する猫が保有していることが多く、猫同士のケンカや接触、交尾などで感染します。ワクチン接種をし、完全に屋内飼育をすることで、感染のリスクを減らすことができます。

子猫は母猫の初乳を飲むことで免疫をもらいます。生後2ヶ月ごろに母猫からもらった免疫がなくなってきた頃に1回目のワクチンを注射するのが効果的です。一般的には生後2ヶ月ごろに1回目、3ヶ月ごろに2回目のワクチン接種を行い、その後は1年毎に行います。

ワクチンや感染症についてご不明な点は、かかりつけの動物病院へご相談ください。



混合ワクチンの接種をし、感染症を予防しましょう
ノミやダニなど外部寄生虫の駆除や予防をしましょう

【猫ウイルス性鼻気管炎（FVR）】

猫ヘルペスウイルスが原因です。発熱、くしゃみ、鼻水などのかぜの症状を呈します。眼の症状がひどくなると、粘液膿性の目やにや鼻水が出るようになり、重度の角結膜炎から角膜潰瘍になることがあります。

【猫カリシウイルス感染症（FCV）】

くしゃみ、鼻水などのかぜの症状を呈し、口内炎や歯肉炎の痛みで食欲不振になることがあります。

【猫クラミジア症】

結膜炎が片方の眼から始まり、両眼に進行します。感染後に一過性の発熱、食欲不振、体重減少が見られることがあります。

【猫汎白血球減少症（パルボウイルス感染症）】

発熱、嘔吐、下痢、血便、脱水症状を起こします。血液では急激な白血球の減少が起こります。子猫では致死率が高い感染症です。

【猫伝染性腹膜炎（FIP）】

コロナウイルスが原因です。腹膜炎・胸膜炎をおこし、腹水・胸水が溜まったため呼吸困難になる滲出型と腹水・胸水がほとんど溜まらず、眼・脳脊髄・肝臓・腎臓などに結節を形成する非滲出型の二つの型があります。一般的な症状は発熱、沈うつ、食欲不振、体重減少が見られ、発症すると死亡率はきわめて高い感染症です。

【猫白血病（FeLV）】

レトロウイルスが原因です。典型的な症状は免疫抑制、貧血およびリンパ腫があります。持続的ウイルス血症の猫は、2～3年以内に死亡することが多いです。

【猫免疫不全症（FIV）】

ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に近似のレトロウイルスが原因です。多くの猫科動物に感受性があるが、人には感染しません。感染してから数年間症状の認められない期間があるのが特徴です。免疫不全の結果、様々な症状がみられます。典型的な症状は、慢性歯肉炎・口内炎、リンパ節の腫れ、体重の減少などで、末期には複数の病気を併発し死亡します。

イ 寄生虫

ノミやダニなどの外部寄生虫や、回虫などの内部寄生虫は外猫との接触を避けて、予防・駆虫を行えば、感染を防ぐことができます。

ウ 食事の管理

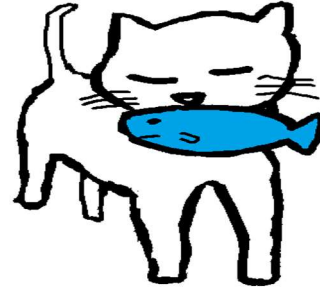
人間の食べ物であっても、猫にとっては有害な場合があります。むやみに人間の食べ物を与えることは避けるとともに、猫が届かないところに食べ物を置くようにしましょう。

【ネギ類】

タマネギや長ネギなどのネギ類には、血液中の赤血球を壊す成分が含まれているため、猫がネギ類を食べると貧血や、血尿の症状が出る場合があります。ネギ類を加熱しても成分は壊すことはできません。

【生魚・イカ】

猫は魚が大好きだというイメージがあります。しかし、基本的に猫に生魚や刺身をあげてはいけません。マグロ、サバなどの魚には不飽和脂肪酸が多く、猫に多く与えるとビタミンEが欠乏し、脂肪組織が炎症を起こす黄色脂肪症（イエローファット）という病気になるといわれています。食欲の低下と運動障害（痛み）の症状があります。また、イカや生魚の種類によってはチアミナーゼというビタミンB₁を壊す成分があるため、ビタミンB₁欠乏症になり、知覚過敏や運動障害などを起こすことがあります。



【カカオ類・チョコレート】

カカオ類やチョコレートに含まれるテオブロミンという成分により、嘔吐・下痢・ふるえ・痙攣等の症状を起こします。カフェインを含むコーヒーやお茶等の飲料でも同様の症状を起こすことがあります。

【キシリトール】

猫が、ガム等に含まれているキシリトールを食べてしまうと、急激に血糖値が下がり、低血糖を起こすおそれがあります。

【ブドウ・レーズン類】

猫が好んでブドウ・レーズンを食べることは少ないですが、犬が食べた場合には嘔吐・下痢や急性腎不全を起こした報告があるので、猫にも食べさせないほうがよいでしょう。

エ 環境

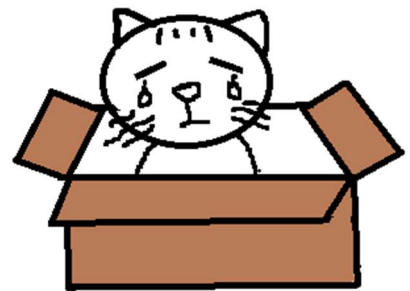
タバコの副流煙は人だけでなく一緒に暮らす猫の健康にも悪影響を与える可能性があります。受動喫煙の害に気をつけてください。また、消臭剤、殺虫剤などの化学薬品は、猫の近くで使用することは控えましょう。



5 終生飼養

終生飼養とは、猫の寿命がつきるまでその猫を飼養することです。屋内できちんと飼えば、猫は10年以上生きます。エサ代や病気の予防、治療等多額の費用がかかります。本当に最後まで面倒を見ることができるか、よく考えてから飼い始めましょう。

「動物を捨てること＝遺棄」は犯罪です。遺棄は、動物の愛護及び管理に関する法律で禁止されており、違反した場合は1年以下の懲役または100万円以下の罰金が規定されています。万が一、どうしても飼えなくなった場合は、新しい飼い主を探しましょう。また、みだりに、給餌や給水をやめたり、病気やけがの状態での放置したり、排泄物の堆積した不衛生な場所で飼育したりする等の行為は「虐待」です。これを行った者も、1年以下の懲役または100万円以下の罰金が規定されています。



終生、愛情と責任をもって飼いましょう

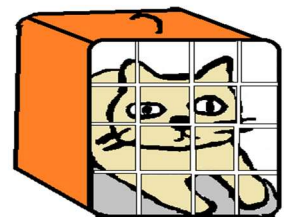
6 災害への対策

災害が起こったときは、まずは飼い主自身や家族の安全確保が第一ですが、動物の安全確保についても日ごろから備えておく必要があります。住まいの防災対策、飼い猫が普段いる場所の防災対策も行いましょう。

水や食料のほか、薬や特別な食事が必要であれば必ず備蓄し、避難所や避難ルートを確認しておくなど、いざというときに慌てないようにしましょう。救援物資の到着までは時間がかかるので、最低5日分は用意しましょう。

避難の指示が出たときや、住居が危険になった場合は、必ず飼い猫と同行避難してください。一緒に避難しないと、大切な飼い猫と離れ離れになってしまいます。一度離れてしまうと再会が難しくなります。突然の災害で猫は興奮しているので、キャリーバッグやケージの扉が開かないようにするなどの注意をしながら、同行避難をしましょう。キャリーバッグやケージに入って移動することや、その中で長時間過ごすことなどになれさせておくことも必要です。

避難時に、猫と離れてしまった場合のために、名札等で所有者を明示しておきましょう。



ケージに慣らしておきましょう